



藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集：多様な主体が繋がるマルシェ きっかけは SDGs



「きっかけになったのは、(一社)藤沢駅周辺地区エリアマネジメント主催のアイデアワークショップに参加した際のこと。テーマごとにグループ分けがされていて、僕は環境に関する何かしらを実施したいと思い、"その他" というテーブルに着きました。そこでの意見交換からSDGsをテーマにイベントをやろう、という流れで実行委員会を立ち上げることになりました。」そう話すのは、SDGsマルシェ実行委員会の委員長を務めている里崇(さと たかし)さん。今回は8月21日(※)に「第1回SDGsマルシェ in 湘南藤沢」開催を予定し、その後の定期開催

に向けて60人近いメンバーと一緒に準備を進めている里さんにお話を伺いました。

里さん自身、そもそも「SDGs」という言葉に興味はあったが、一体どういうものなのかはよく知らなかったそう。普段は、地元である藤沢市北部で「農家レストランいぶき」と「いぶき農園」を経営している里さんは、まず顔見知りの方々や周囲に声をかけSDGsに興味のある方々を集め、どういったことができるのか・やってみたいのかを話し合うことからスタートしました。

(つづく)



## ■ 特集：多様な主体が繋がるマルシェ きっかけはSDGs

ワークショップがきっかけで、話し合いを重ねるごとに参加メンバーが周囲に声かけをしながら、だんだんとメンバーが増えていったそうです。コロナ禍の影響はあったものの、Zoomなどを活用して頻繁に話し合うことで、短期間で企画を詰めていくことができました。「1人で実行することは不可能なため、自分たちが何をしたいのか共有していくことは大変だったが楽しくもあり、その成果がいまのかたち」と里さんは話します。

企画の骨子も固まり、サンパール広場を使用して「SDGs マルシェ」を開催することに決定。近隣の大学や地域で活動している企業や団体、NPOなどが協力をし、SDGs マルシェ実行委員会が発足しました。

里さん自身はこの企画を通して「大学生や地域の団体が協力してSDGs マルシェを企画運営し、SDGsを誰もが身近に捉えられるような手伝いをしたい」とのこと。実行委員会では、SDGsについて具体的に何をしたらいいのか、SDGsとは何なのかを明確に分かることは少ないのではないかと考え、一步を踏み出す機会を作ることに。また目で見て、手に取って、自分自身が主体的にSDGsを知ることができるのが“マルシェ”となったそうです。「SDGsを言葉として理解するのではなく、行動に移すことの大切さや楽しさを理解してもらい、SDGsを“他人ごと”から“自分ごと”につなげられる存在になれることがこの企画の1番の目的」と里さんは言います。



実行委員長の里 崇さん

今回、多種多様な組織が関わり企画を進めていく中で、それぞれの強みを活かすことの素晴らしさを実感できたそうです。里さんは「足りないところは、そこ得意とする分野のメンバーで有機的な役割分担ができ、各自が当事者意識をもって取り組む雰囲気が作られていきました」と語ります。

「何か問題が起きても解決できる」と、全てをポジティブに捉えて課題を解決してきた様子などのお話を聞かれて、メンバーを尊重し強みを發揮できる環境作りのヒントを教えていただきました。クラウドファンディング（近日公開予定）を担当している大学生にお話を伺うと「里さんはいつも笑顔で、なんでも受け入れてくれそうな雰囲気があるので、意見なども言いやすく活動を楽しんでできている」とのこと。里さんのリーダーシップと、「SDGs」という共通言語があることで、小さなアイデアが多くの方々の想いの実現へとつながったのではないかと感じます。

8月21日の第1回（※）を皮切りに定期的に開催を考えているとのことですので、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

（取材と記事作成：神藤・桜井）

※上記イベントは緊急事態宣言の影響により、9月26日（日）に延期されました。取材時は8月21日開催予定でしたので、記事中の表現はそのままにしています。ご了承ください。

### 団体紹介

#### SDGsマルシェ実行委員会

設立：2021年2月

委員長：里 崇

HP：<https://www.sdgsmarche.com/>

f：<https://www.facebook.com/sdgs.shonan/>

◎：[https://www.instagram.com/sdgs\\_shonan/](https://www.instagram.com/sdgs_shonan/)



開催地にゆかりのある企業・大学・NPO団体等が連携し、身近な「SDGs」に一步踏み出しききっかけとなる「SDGs マルシェ」の開催を目的に結成しました。湘南藤沢地域を中心活動している熱い想いのあるメンバーがそれぞれの強みを生かしながら全員で作り上げることをスローガンに活動中。

同じ想いを持つ全国の仲間とつながり、出店やワークショップを通じて1人でも多くの人がSDGsを身近に感じることを目指しています。第1回SDGs マルシェは藤沢駅前のサンパール広場にて、開催予定。このコロナ禍であって

も、「誰一人取り残さない」というSDGsの精神を守りながら企画運営を進めています。

詳細は、公式HPやSNSで公開中。全国展開や定期開催を見据えてクラウドファンディングもスタート予定。



藤沢市市民活動支援施設では開設当初より、国内大規模災害被災地の支援に取り組んできました。職員派遣から、支援金募金、再生PCの現地NPOへの寄贈など、多岐に渡ります。

あわせて、ボランティア募集情報や支援金・義援金、その他支援の参考になるウェブサイトなどについての情報発信を行っています。

推進センターのHPでは、「日本国内の大規模災害に関する支援情報」というページを公開しています。

#### ■ボランティア活動への参加等

支援団体や災害ボランティアセンターなどを紹介しています。支援をお考えの際に必要な情報が多く集められています。

#### ■募金等

被災地の支援金や義援金募集などの情報を

掲載しています。使途などが分かるよう簡単な説明も添えています。

その他状況に合わせて、支援団体向け助成金や、ボランティアの注意点をまとめたウェブサイトを紹介しています。支援の方針・内容を考えるために使いいただければ幸いです。

藤沢市市民活動に関わっている皆さんが団体として被災地を支援する場合、以下のようにできることがあります。

#### ①資金支援

団体内募集や街頭募金でお金を集めることで、個人規模より効果的に資金支援ができます。街頭募金は団体名や問い合わせ先が分かる形で、寄付先を明示して実施しましょう。

#### ②物資支援

発災直後に直接物資を送ると、現地の混乱

のもととなります。物資は現地の受け入れ状況を調べてからお送りください。被災地側が通販サイトの「ほしいもののリスト」を活用している場合もあります。

#### ③ボランティア派遣等の直接支援

発災直後は専門的な技術や経験のある団体以外は被災地に入ることは難しく、復興・復旧期の避難所や仮設住宅の生活支援などでニーズがあります。被災地に入る前に現地災害ボランティアセンター等にお問合せ下さい。

どういう支援が効果的かは団体の性質などにより変わります。そうした遠隔地の支援についても、ご相談を承っています。



## パーム油をめぐる話

アブラヤシから採れる「パーム油」は世界で一番多く使われている植物油です。お菓子などの加工食品や、食器・洗濯・掃除用の洗剤やシャンプーにも使用されています。また、コンビニやスーパー、外食チェーン店などで提供されるフライドチキンやドーナツなどの揚げ油としては、広く使用されています。呼び名は、植物油・植物油脂・ショートニング・マーガリン・グリセリン・界面活性剤などと様々です。

パーム油の優位性として第一に汎用性、つまり他の植物油に比べて、使い勝手がよいことが挙げられます。また、苗を植えれば、年間を通して収穫できる時期が約20年以上続くことから生産効率も高く、他の植物油の生産地との労働環境の違いから価格は比較的低いため、積極的に使用されています。原材料に「植物油脂」と表示され気づきにくいのですが、私たちはこの便利な油を日々摂取しています。

しかしながら、パーム油の大量消費を賄う大量生産のために、生物の多様性を支えている広大な熱帯雨林が伐採されることはあまり知られていません。アブラヤシの栽培に適した赤道下のマレーシアやインドネシアの熱帯雨林には、ゾウやオランウータンをはじめ多種多様な動植物が生息しています。特に、インドネシアのパーム油の生産量は、2000年に比べ3倍以上となり今でも上昇を続けています。パーム油生産のため、自然の熱帯雨林は、広大なアブラヤシのプランテーションに変わり、動植物は生きる場を奪われ、生物の多様性は失われてきています。また、熱帯雨林破壊だけでなく、火災や泥炭地開発がもたらす気候変動

への影響、開発に伴う先住民族との問題や農園で働く児童を含む労働者の人権侵害等々、パーム油の生産に関わる問題はどれも深刻なものばかりです。

パーム油については、2004年「持続可能なパーム油のための円卓会議(RSPO)」が設立されました。アブラヤシ農園、流通業者、消費財メーカー、小売業、投資家、環境NGOなど7つのセクターが参加し8つの基準と39の基準」を定め、認証油制度が始まっています。日本でも2019年4月に、小売、消費財メーカー、NGOなど18社/団体は、パーム油生産における環境面などさまざまな問題を解決することを目指し、日本市場における持続可能なパーム油の調達と消費を加速させるため、「持続可能なパーム油ネットワーク(JaSPO ジャスポン)」を設立しました。

熱帯雨林は「地球の肺」と言われ、酸素供給、炭素固定では大きな役割を果たしています。ほかにも、保水機能、薬用植物など森の資源、野生動物の住処など、計り知れない価値を持っています。一方で、パーム油は、全世界70億人の命を支える資源の一つです。熱帯雨林がある国の人々だけの課題ではないことを理解し、自分たちの暮らしを見直す時期が来ています。2030年のSDGsの達成に向け、世界で起こっていることをまずは「知ること」「調べること」から始めましょう。(て)

なぜなに  
NPO  
vol.145



認証製品であることを示すマークであり、商品にこのマークを付けることにより、消費者も簡単に選択できるようになる。

参考: WWF JAPAN <https://www.wwf.or.jp/>

認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン <https://www.bctj.jp>  
公益財団法人日本ユニセフ協会 <https://www.unicef.or.jp>

## 講座・イベントの

# ごあんない

### イベント

### 日時

■施設の利用制限期間	7月22日(木)	～	8月31日(火)
■マネジメント講座「ココからはじめるNPOの資金のはなし」	8月22日(日)・29日(日)	13:30～15:30	
■ITサポート講座「ステップアップ！エクセル講座」	8月23日(月)・30日(月)	13:30～16:00	

NEW!

## 支援施設からのお知らせ

### ■施設のご利用制限について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い神奈川県に緊急事態宣言が発出されたため、藤沢市市民活動推進センターおよび市民活動プラザむつあいでは、ご利用内容を制限しての開館とさせていただきます。

【対象期間】2021年7月22日(木)より8月31日(火)まで  
※期間は感染拡大状況等により変更の可能性があります

#### 【制限内容】

- ・市民活動推進センター
  - ①開館時間 9:00～22:00
  - ②会議室利用時間 9:00～20:00
  - ③会議室定員 会議室A 15名まで  
会議室B 10名まで
- ・市民活動プラザむつあい
  - ①開館時間 9:00～19:00 ※通常通り

また、1時間に1度、5分程度の全館換気を実施しています。会議室等をご利用中でもお声掛けさせて頂くことがございます。ご利用にあたっては、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

その他、詳細はQRコードの先よりご覧ください。



### ■マネジメント講座「ココからはじめるNPOの資金のはなし」

活動資金にお悩みのある団体の皆さまへ。本講座では、資金調達の計画を練る前に、組織ごと事業ごとの資金調達の方法、助成金の申請書の書き方や寄付をいただくための広報の仕方などを学べるオンライン講座です。相談もお受けいたします。

日時 : ①2021年8月22日(日) 13:30～15:30  
②2021年8月29日(日) 13:30～15:30

会場 : オンライン

講師 : 手塚 明美 氏 (認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構 理事長)

料金 : 2回で2500円 (テキスト代含む)

内容 : 組織や事業に向いた資金調達の方法助成金の申請書の書き方、寄付を募るための広報 等

対象 : NPO、ボランティア団体で活動している方

問合・申込 : 市民活動推進センター



### ■ITサポート講座「ステップアップ！エクセル講座」

2回の連続講座です。「集計表」などの表計算の基本から、会員名簿におけるデータ整理といった中級スキルまで習得できます！  
第1回が初級編、第2回が中級編となります。

日時 : ①2021年8月23日(月) 13:30～16:00  
②2021年8月30日(月) 13:30～16:00

会場 : 市民活動推進センター 会議室A

講師 : 市民活動支援施設サポートクラブ IT サポーター

料金 : 2回で2500円 (テキスト代含む)

対象 : NPO・市民活動・地域活動に関わっている方で、エクセルを習得したい方、パソコンで文字入力が出来る方

問合・申込 : 市民活動推進センター



発行 : 藤沢市市民活動支援施設

本館 : 市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢 1031 GRAFARE FUJISAWA 2F

※ビル名が変更になりました

TEL : 0466-54-4510 FAX : 0466-54-4516

Eメール : f-npoc@shonanfujisawa.com

編集 : 認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構 (藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)



分館 : 市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～19:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市龜井野 4-8-1 六会市民センター 2階

TEL & FAX : 0466-81-0222

Eメール : f-npoplaza@shonanfujisawa.com

URL : <http://plaza6i.f-npon.jp/>



※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪  
センターも随時募集中です！